

来週の「売り物記事」はこれ



2019年11月1日号

毎日新聞東京本社 編集編成局・販促宣伝部

社会人野球日本選手権決勝 試合結果

運動面など 5日(火)



社会人野球の第45回日本選手権大会の決勝が4日、京セラドーム大阪(大阪市)で行われます。大会には32チームが出場して、単独チームの日本一と年間王座を争ってきました。来年は東京五輪・パラリンピックがあるため、秋開催ではなく7月となります。今大会の優勝チームに出場権が与えられます。ニュースサイトでは決勝も無料でライブ中継をします。

女性のカラダノート・骨粗しょう症防ぐには

くらしナビ面 6日(水)から



骨がスカスカになり、折れやすくなる骨粗しょう症は中高年の女性に多い病気です。国内の患者数は約1300万人と多いですが、初めのうちは自覚症状が出ないため、気づかないうちに病状が進行していることも。骨折によって寝たきりになることも少なくない骨粗しょう症の予防と治療の注意点について、3回にわたって紹介します。

福祉施設の人材難

社会保障面 6日(水)

高齢者や障害者の介護や支援をする福祉施設の人材難が深刻化しています。人手不足による職場環境の悪化が人集めをさらに難しくするという悪循環を絶とうと、東京都は小規模の施設に無料でコンサルタントを派遣する事業に乗り出しました。ただ、背景には介護報酬の低さなど構造的な問題があり、解決は簡単ではありません。現場の声を聞きます。



渋沢栄一に学ぶ「倫理と利益」

夕刊特集ワイド 6日(水)



先の見えない不安な世の中で、熱い視線を集めている人がいます。「日本資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一(1840~1931年)です。一般的な知名度は高くありませんが、2024年度に発行される新1万円札の肖像に選ばれ、再来年のNHK大河ドラマで取り上げられるなど、にわかに関心を浴びています。「論語と算盤(そろばん)」というその思想は海外でも注目されています。今、渋沢が求められるのはなぜかを追います。

連載「ベルリンの壁崩壊30年」

総合面など 6日(水)から

東西ドイツを分断し、米ソ冷戦の象徴だったベルリンの壁が1989年11月に崩壊してから今年で30年。ドイツの旧東独地域では今、排外主義的な右派政党「ドイツのための選択肢(AfD)」が急伸しています。背景にあるのは、統一が生んだひずみや不満、消えない東西格差——。壁崩壊当時を振り返りつつ、ドイツ社会で起きている変化の深層を連載などで探ります。

「培養肉」進む研究開発

科学面 7日(木)



動物の細胞を培養して食用の肉を作る「培養肉」の研究開発が、国内外で進んでいます。牛や豚などを飼育して食用肉にするよりも環境への負担が小さく、地球温暖化対策や人口増加による食肉不足への対策として期待されています。しかし、コスト面や「本当の肉」のように立体的な食肉とする技術の確立など、課題も多く残されています。研究開発の現状と今後の見通しを探ります。

論点 台風19号の教訓

オピニオン面 8日(金)

10月12日夜に上陸した台風19号は、列島各地に深い爪痕を残しました。各地で河川の堤防が決壊、多数の死者・不明者が出ました。さらに、台風21号でも、千葉県や福島県で記録的大雨による被害が相次いでいます。数十年に一度レベルの気象災害に、私たちはどう向き合うべきなのでしょう。荒ぶる気象から学ぶことは何かを探ります。



鶴瓶さんの素顔

Sストーリー 10日(日)



テレビで人気の笑福亭鶴瓶さんは、映画「閉鎖病棟」(公開中)で、死刑執行の失敗で生き永らえた元死刑囚を演じています。主演は10年ぶり。居場所がない人々が登場するシリアスな内容だけに、テレビで見せる笑顔を「封印」しての演技となりました。映像世界で活躍する裏側で、落語の精進にも励んでいます。努力を他人に見せない鶴瓶さんの素顔に迫ります。



※ 都合によっては掲載日や内容を変更することがあります。